

熊本県感染症情報 (第30週)

県内154定点医療機関からの報告数 7/26～8/1

No.	疾患名	今週	前週
1	インフルエンザ	0	0
2	RSウイルス感染症	37	27
3	咽頭結膜熱	23	16
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	8
5	感染性胃腸炎	132	122
6	水痘	12	0
7	手足口病	131	162
8	伝染性紅斑(りんご病)	1	2
9	突発性発しん	25	28

No.	疾患名	今週	前週
10	ヘルパンギーナ	24	17
11	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	3	2
12	急性出血性結膜炎	0	0
13	流行性角結膜炎(はやり目)	2	3
14	細菌性髄膜炎	0	0
15	無菌性髄膜炎	0	1
16	マイコプラズマ肺炎	0	0
17	クラミジア肺炎	0	0
18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0

各疾患別定点医療機関数			
No.1	: 80	No.12、13	: 9
No.2～11	: 50	No.14～18	: 15

【報告数の多い疾患】

地区別: 定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

感染性胃腸炎

報告数: 132件 (前週: 122件) 地区別: 有明、菊池、御船 年齢別: 1歳 32件 (24.2%)

手足口病

報告数: 131件 (前週: 162件) 地区別: 熊本、菊池、宇城 年齢別: 1歳 43件 (32.8%)

RSウイルス感染症

報告数: 37件 (前週: 27件) 地区別: 菊池、人吉、八代 年齢別: 1歳 15件 (40.5%)

【ボツリヌス症の届出がありました。】

今週(第30週)はボツリヌス症の報告が3件ありました。感染症法の改正(2003年11月5日施行)により、4類感染症として全数の届出を行うよう規定されましたが、それ以降は2012年に1件の報告があり、本県では9年振りになります。全国では、年間0～6件報告されています。

今回の報告例は家族内でのボツリヌス毒素による食中毒であり、複視(物が二重に見える)や言語障害が現れ、呼吸困難となった患者もいます。

【ボツリヌス症とは】(参考: 国立感染症研究所及び東京都福祉保健局ホームページ)

- ・ボツリヌス菌という細菌が作るボツリヌス毒素によって起きる病気です。この毒素の働きで麻痺症状が引き起こされます。
- ・ボツリヌス菌は、酸素があると増えることのできない偏性嫌気性菌の仲間です。ボツリヌス菌は、芽胞という「固い殻に閉じこもった種子のようなかたち」では、熱、乾燥、消毒薬等に強い状態になり、厳しい環境でも長く生き延びます。ただし、芽胞のかたちのままでは、増えることはできません。
- ・病態により、4型に分けられますが、以下の2つの型は他と比べ報告があるので注意が必要です。

1) ボツリヌス食中毒

食品に混入していた芽胞が発芽して食品内で増え、増えた菌が食品内でボツリヌス毒素を作り、その毒素を食品とともに食べることで、ボツリヌス食中毒が引き起こされます。日本では、真空パック詰め食品(辛子レンコン、ハヤシライスの具材、あずきぱっとう)、瓶詰め(里芋、グリーンオリーブ)、自家製の「いづし類」等による食中毒事例が報告されています。

2) 乳児ボツリヌス症

ボツリヌス菌の芽胞を食べると、1歳未満の乳児の腸内で、芽胞から「増えることができるかたち」になって菌が増殖し、乳児は自分の腸内で菌が作った毒素によって、発症します。過去に因果関係が明らかになったハチミツは、1歳未満の乳児に食べさせないようにする必要があります。

【症状・治療】

まぶたが垂れ下がる、物が二重に見えたりかすんで見えたりする、物が飲み込みにくくなる、ろれつが回らなくなる、口渇などの神経症状です。病気が進むと、首、肩、腕、足の筋肉に麻痺がおきます。呼吸をするために必要な筋肉が麻痺し呼吸困難になった場合は、筋肉の機能が回復するまで、人工呼吸器によるサポートが必要になります。適切な治療がなされないと、死に至ることもあります。一方、軽症ですんで気付かないこともあります。最初に、嘔吐や下痢を認めることもあり、すぐに便秘になるのが特徴です。症状が1か月間以上続き、回復に1年以上かかる場合もあります。

治療にはボツリヌス毒素に対するウマの抗血清を使います。ウマの血清なので、アレルギー症状が起きないか、試験をしてから使います。

【予防】

ボツリヌス菌の芽胞は土壌に広く分布しているため、食品原材料の汚染防止は困難です。食品中での菌の増殖を抑えることが重要です。

～ボツリヌス菌による食中毒予防のポイント～

- ・「食品を気密性のある容器に入れ、密封した後、加圧加熱殺菌」という表示の無い食品、あるいは「要冷蔵」「10 以下で保存してください」などの表示のある場合は、必ず冷蔵保存して 期限内に消費してください。
- ・真空パックや缶詰が膨張していたり、食品に異臭(酪酸臭)があるときには絶対に食べないでください。
- ・ボツリヌス菌は熱に強い芽胞を作るため、120 4分間以上の加熱をしなければ完全に死滅しません。そのため、家庭で缶詰、真空パック、びん詰、「いづし」などをつくる場合には、原材料を十分に洗浄し、加熱殺菌の温度や保存の方法に十分注意しないと危険です。保存は、3 未満で冷蔵又は、18 以下で冷凍しましょう。
- ・ボツリヌス毒素は、80 30分間(100 なら数分以上)の加熱で失活するので、食べる直前に十分に加熱すると効果的です。
- ・1歳未満の乳児には、ボツリヌス菌の芽胞に汚染される可能性のある食品(ハチミツ等)を食べさせるのは避けてください。

熊本県感染症情報 (第30週)

報告期間	第23週	第24週	第25週	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週	第27週	第28週	第29週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	6/7 ~ 6/13	6/14 ~ 6/20	6/21 ~ 6/27	6/28 ~ 7/4	7/5 ~ 7/11	7/12 ~ 7/18	7/19 ~ 7/25	7/26 ~ 8/1	7/5 ~ 7/11	7/12 ~ 7/18	7/19 ~ 7/25
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2
RSウイルス感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0
咽頭結膜熱	54	80	64	60	41	35	27	37	15,896	18,915	14,664
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.08	1.60	1.28	1.20	0.82	0.70	0.54	0.74	5.04	5.99	4.64
感染性胃腸炎	28	41	24	25	10	21	16	23	1,024	938	620
水痘	0.56	0.82	0.48	0.50	0.20	0.42	0.32	0.46	0.32	0.30	0.20
手足口病	20	21	18	26	23	27	8	13	1,927	1,822	1,357
伝染性紅斑	0.40	0.42	0.36	0.52	0.46	0.54	0.16	0.26	0.61	0.58	0.43
突発性発しん	114	118	155	125	138	154	122	132	9,580	9,159	6,533
ヘルパンギーナ	2.28	2.36	3.10	2.50	2.76	3.08	2.44	2.64	3.04	2.9	2.07
流行性耳下腺炎	5	6	7	8	4	19	0	12	276	305	210
急性出血性結膜炎	0.10	0.12	0.14	0.16	0.08	0.38	0.00	0.24	0.09	0.1	0.07
細菌性髄膜炎	59	127	162	160	168	205	162	131	498	544	468
無菌性髄膜炎	1.18	2.54	3.24	3.20	3.36	4.10	3.24	2.62	0.16	0.17	0.15
マイコプラズマ肺炎	1	1	1	7	2	0	2	1	39	24	43
クラミジア肺炎	0.02	0.02	0.02	0.14	0.04	0.00	0.04	0.02	0.01	0.01	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	36	36	39	38	40	39	28	25	1,319	1,306	1,074
	0.72	0.72	0.78	0.76	0.80	0.78	0.56	0.50	0.42	0.41	0.34
	5	4	9	6	2	10	17	24	675	940	931
	0.10	0.08	0.18	0.12	0.04	0.20	0.34	0.48	0.21	0.30	0.29
	1	0	2	1	5	4	2	3	245	246	212
	0.02	0.00	0.04	0.02	0.10	0.08	0.04	0.06	0.08	0.08	0.07
	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	5
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
	5	9	2	6	3	8	3	2	142	141	104
	0.56	1.00	0.22	0.67	0.33	0.89	0.33	0.22	0.21	0.20	0.15
	0	0	0	0	0	0	0	0	12	5	11
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.01	0.02
	1	0	0	0	0	1	0	0	13	10	6
	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.03	0.02	0.01
	0	0	0	0	1	0	0	0	11	7	12
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.03
	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00
	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01

上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

【1類～5類感染症(全数把握)の報告】

3類感染症

腸管出血性大腸菌感染症: 1件(今年19件)

4類感染症

日本紅斑熱: 1件(今年12件)

ポツリヌス症: 3件(今年3件)

レジオネラ症: 1件(今年19件)

5類感染症

カルバペネム耐性腸内細菌感染症: 1件(今年15件)

梅毒: 3件(今年67件)

百日咳: 2件(今年23件)

参考

県内における腸管出血性大腸菌による感染者累計

(令和3年(2021年)8月1日現在)

令和3年(2021年) 19人(患者:13人 無症状病原体保有者: 6人)

昨年同期 25人(患者:14人 無症状病原体保有者:11人)

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】

(全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は1週間までの内容になります。)

手足口病

【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

手足口病

:熊本市、宇城

【病原体検査情報】

県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。

季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) 2020/21シーズン(R2.8/31~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1 pdm(AH1 pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	17件	0件	0件	1件

呼吸器疾患病原体検出状況 第1週(R3.1/4~)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
31件 (41件)	3件 (4件)	0件 (2件)	0件 (0件)	6件 (5件)	0件 (0件)
アデノウイルス	その他				
1件 (1件)	886件 (578件)				

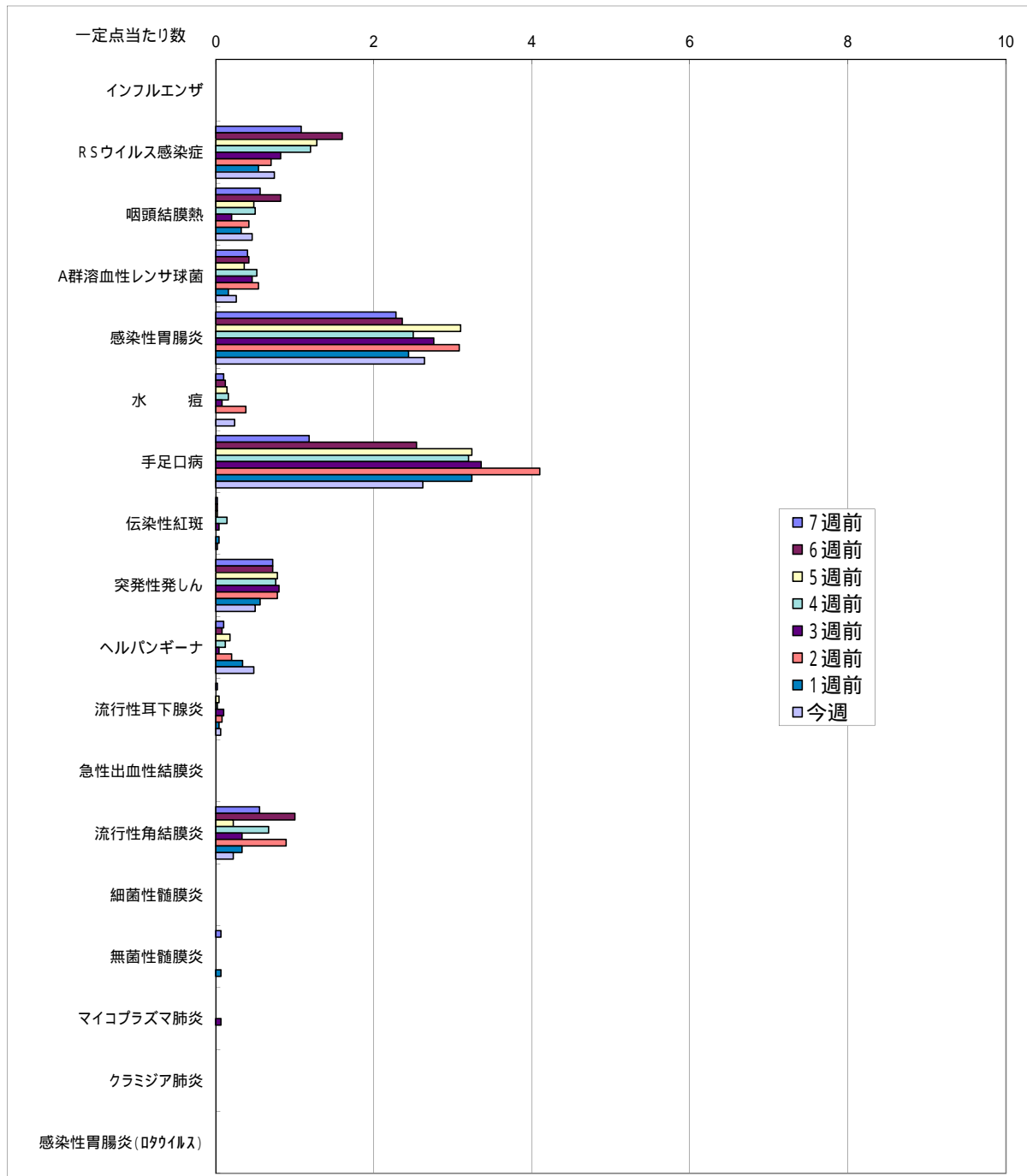
(かつこ内は昨シーズン累計)

感染性胃腸炎病原体検出状況 第1週(R3.1/4~)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
3件 (13件)	0件 (1件)	0件 (0件)	0件 (0件)	1件 (1件)	3件 (5件)

(かつこ内は昨シーズン累計)

一定点当たり週別発生状況の推移



一定点当たりの数値が10.00を超えた場合の推移は前の表で確認してください。

保健所別発生状況 (インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

第30週

	保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	0	16	10	5	21	1	84	1	8	9	0	0	2	0	0	0	0	0
2	山鹿保健所	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	菊池保健所	0	7	1	1	38	3	15	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0
4	阿蘇保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	御船保健所	0	0	1	2	11	0	6	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
6	八代保健所	0	5	1	1	7	0	8	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
7	水俣保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	人吉保健所	0	4	0	2	6	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	有明保健所	0	5	6	1	39	4	4	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
10	宇城保健所	0	0	1	1	7	4	10	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
11	天草保健所	0	0	0	0	3	0	3	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	37	23	13	132	12	131	1	25	24	3	0	2	0	0	0	0	0

保健所別一定点当り患者報告数

	保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶連菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	0.00	1.00	0.63	0.31	1.31	0.06	5.25	0.06	0.50	0.56	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	山鹿保健所	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	菊池保健所	0.00	1.40	0.20	0.20	7.60	0.60	3.00	0.00	0.60	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	阿蘇保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	御船保健所	0.00	0.00	0.33	0.67	3.67	0.00	2.00	0.00	0.67	1.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	八代保健所	0.00	1.25	0.25	0.25	1.75	0.00	2.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	水俣保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	人吉保健所	0.00	1.33	0.00	0.67	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	有明保健所	0.00	1.00	1.20	0.20	7.80	0.80	0.80	0.00	0.40	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	宇城保健所	0.00	0.00	0.25	0.25	1.75	1.00	2.50	0.00	0.25	0.75	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	天草保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00	0.25	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平均	0.00	0.74	0.46	0.26	2.64	0.24	2.62	0.02	0.50	0.48	0.06	0.00	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

